

シンポジウム52

# 在宅医療における ICT運用の課題と可能性

多職種連携委員会 ICT ワーキンググループ企画

# アンケート結果

- 多職種連携委員会ICTワーキンググループでは ICTツールの利用状況の実態を把握するため、2020 年 6 月 に在宅医療連合学会の会員でメールアドレスが登録されている 3549 名に本学会を通して GoogleForms を用いた無記名アンケート調査を行った。
- その結果、273（回答率 7.7%）の回答を得た。

## ICTツール利用についてのアンケート調査

【日本在宅医療連合学会・多職種連携委員会・ICTワーキンググループ編】

回答者の貴施設での立場は？

- ☐ 経営者
- ☐ 常勤スタッフ
- ☐ 非常勤スタッフ

貴施設の種類 \*

- ☐ 病院
- ☐ 診療所（無床）
- ☐ 診療所（有床）
- ☐ 老健
- ☐ 訪問看護ステーション
- ☐ 居宅介護支援事業所
- ☐ 小規模多機能
- ☐ 看護小規模多機能
- ☐ 訪問介護
- ☐ 訪問入浴
- ☐ 福祉用具
- ☐ グループホーム（認知症対応型共同生活介護）
- ☐ ショートステイ（短期入所生活介護）
- ☐ デイサービス（通所介護）

## ICTツールを利用している方

説明（省略可）

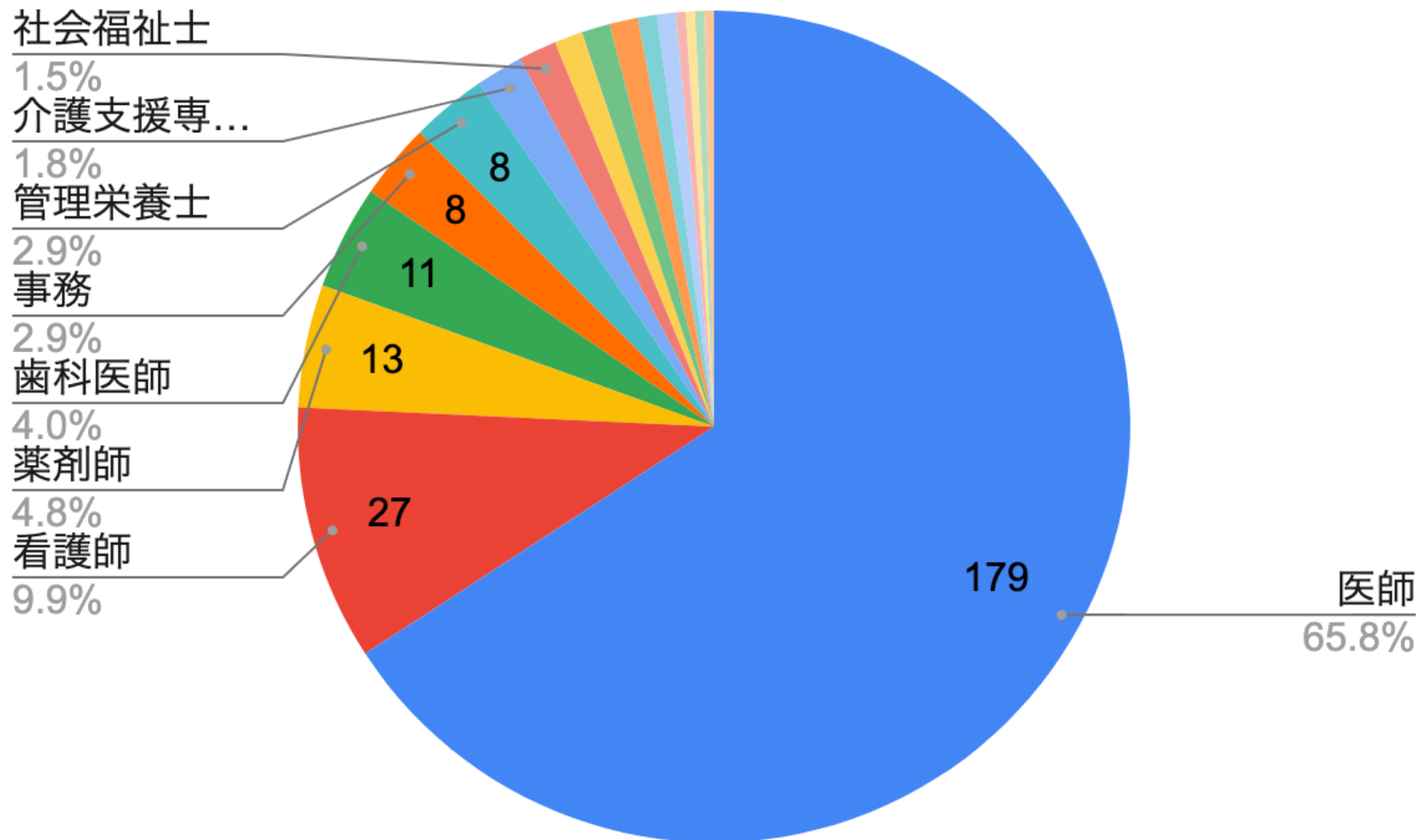
利用しているICTツールの種類（五十音順・複数選択可） \*

- ☐ IIJ@電子連絡帳
- ☐ カナミック
- ☐ ショートメッセージ・SMS（電話番号で送るメール）
- ☐ 電子メール
- ☐ バイタルリンク
- ☐ MCS（メディカル・ケア・ステーション）
- ☐ LINE
- ☐ Facebook
- ☐ 不明
- ☐ その他...

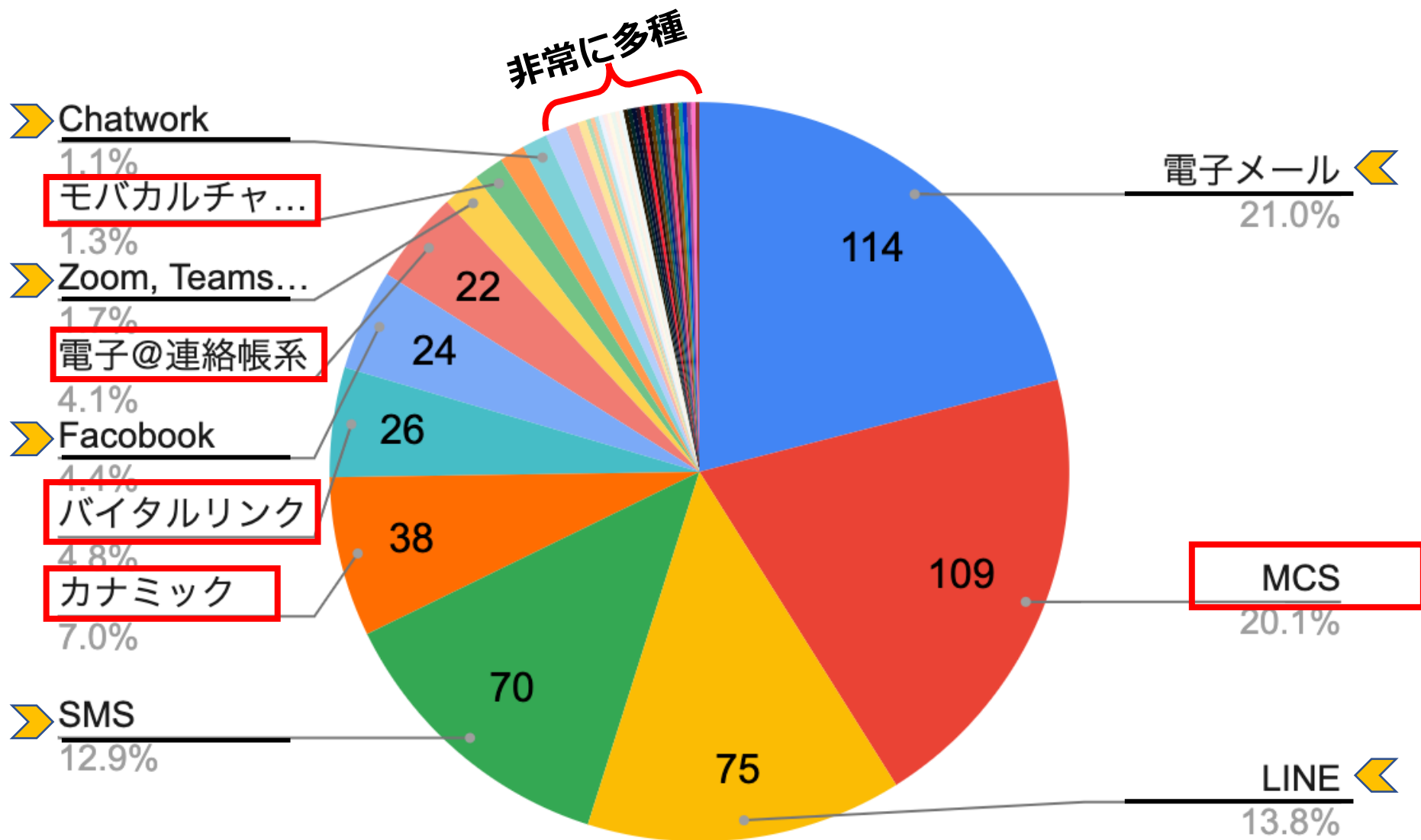
使用機器（複数選択可） \*

- ☐ パーソナル・コンピュータ
- ☐ スマートフォン（個人所有）
- ☐ スマートフォン（施設貸与）
- ☐ タブレット（個人所有）
- ☐ タブレット（施設貸与）
- ☐ その他...

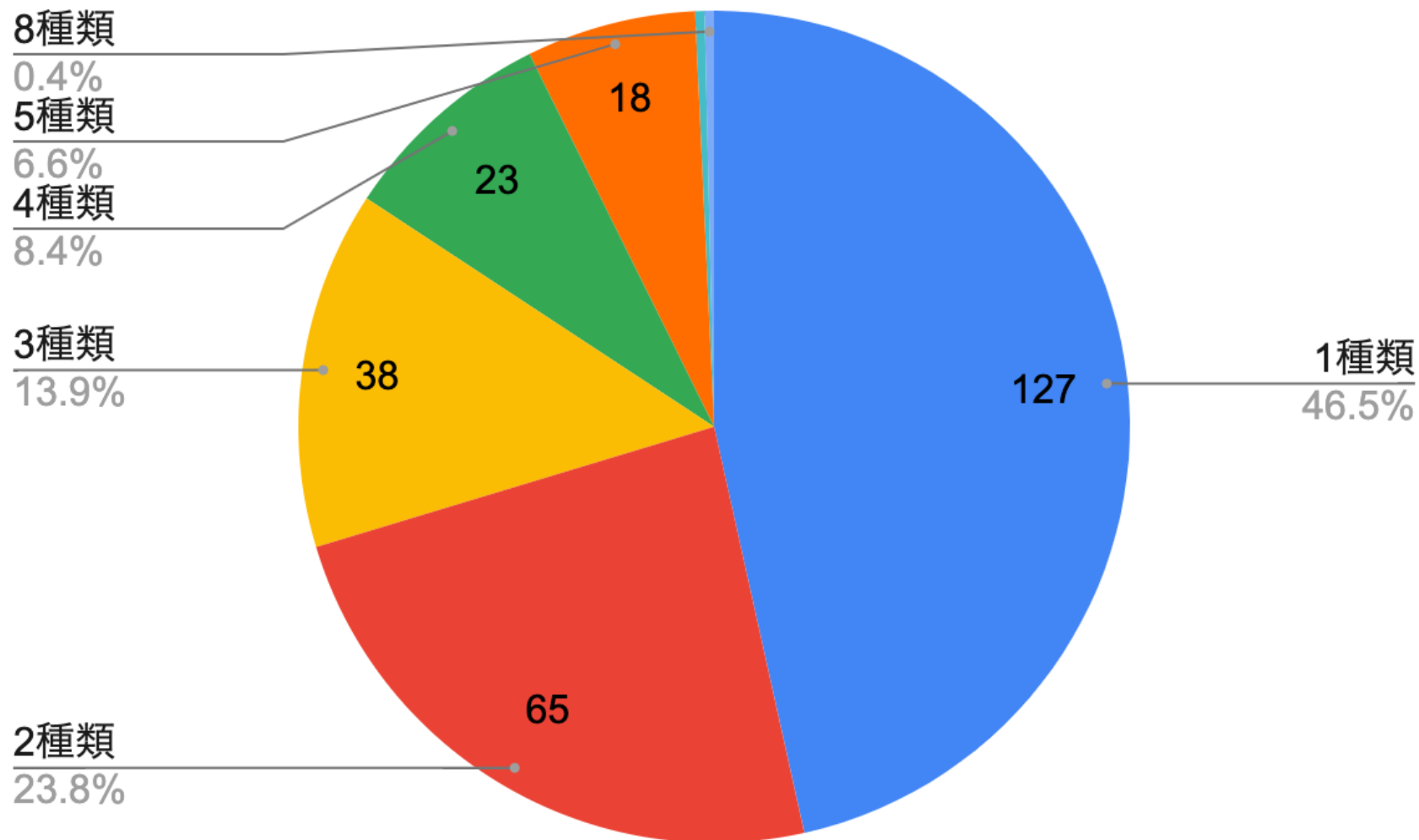
# 回答者の職種と人数



# 利用ICTツール（複数回答）



# 何種類使っている？



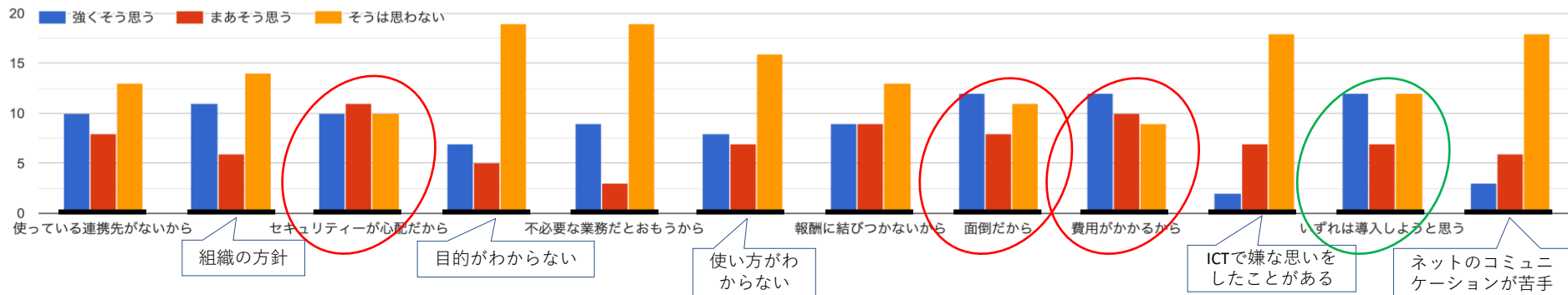
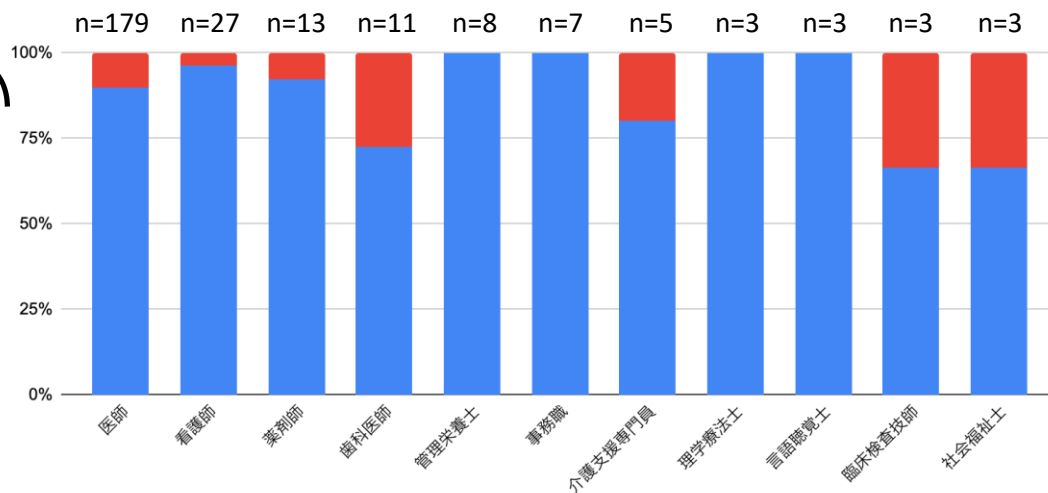
# ICTツールを使わない理由

職種別ICTツールの利用割合

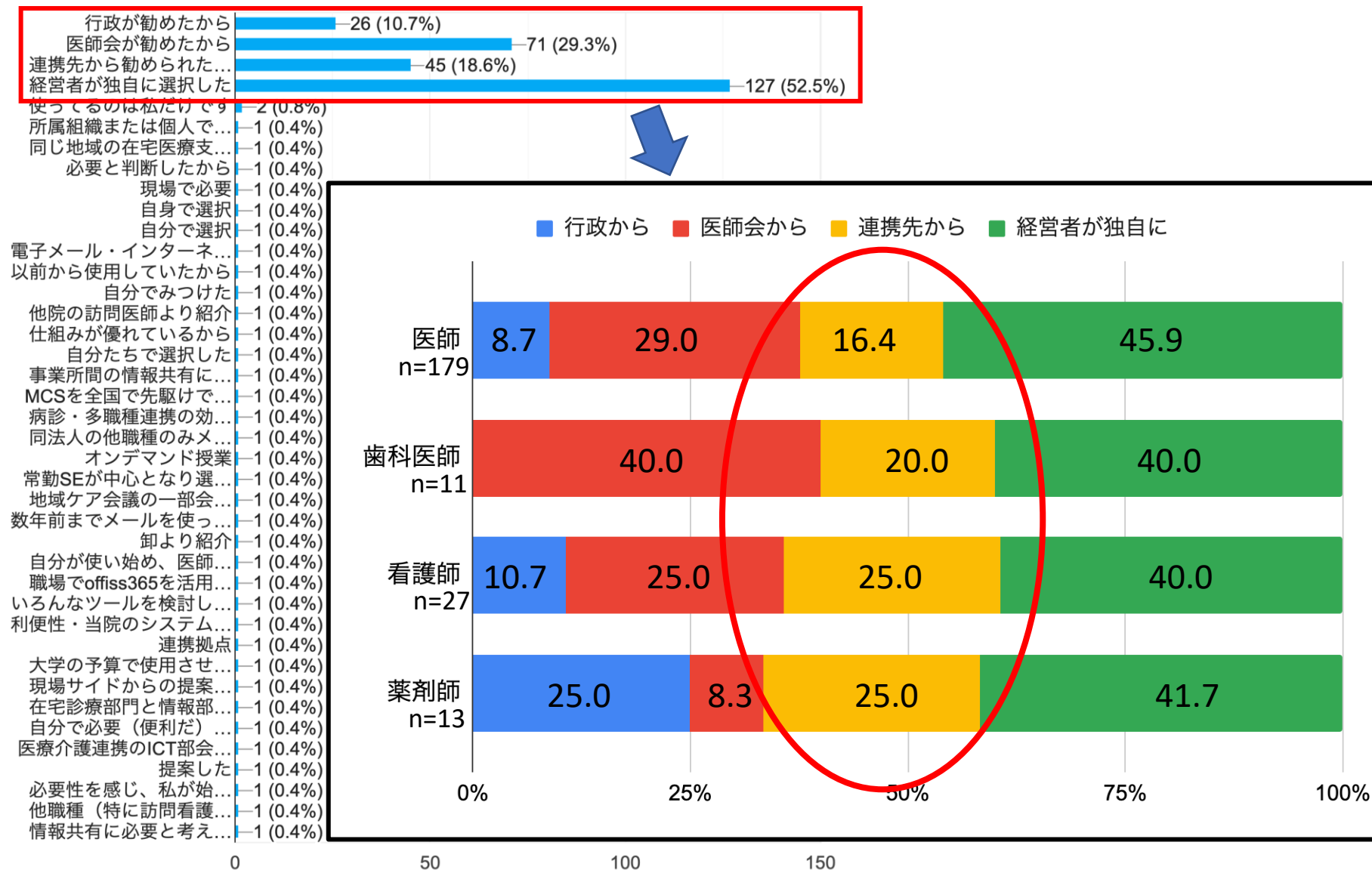
■ 使っていない ■ 使っている

ICTツールを使っていない  
31件

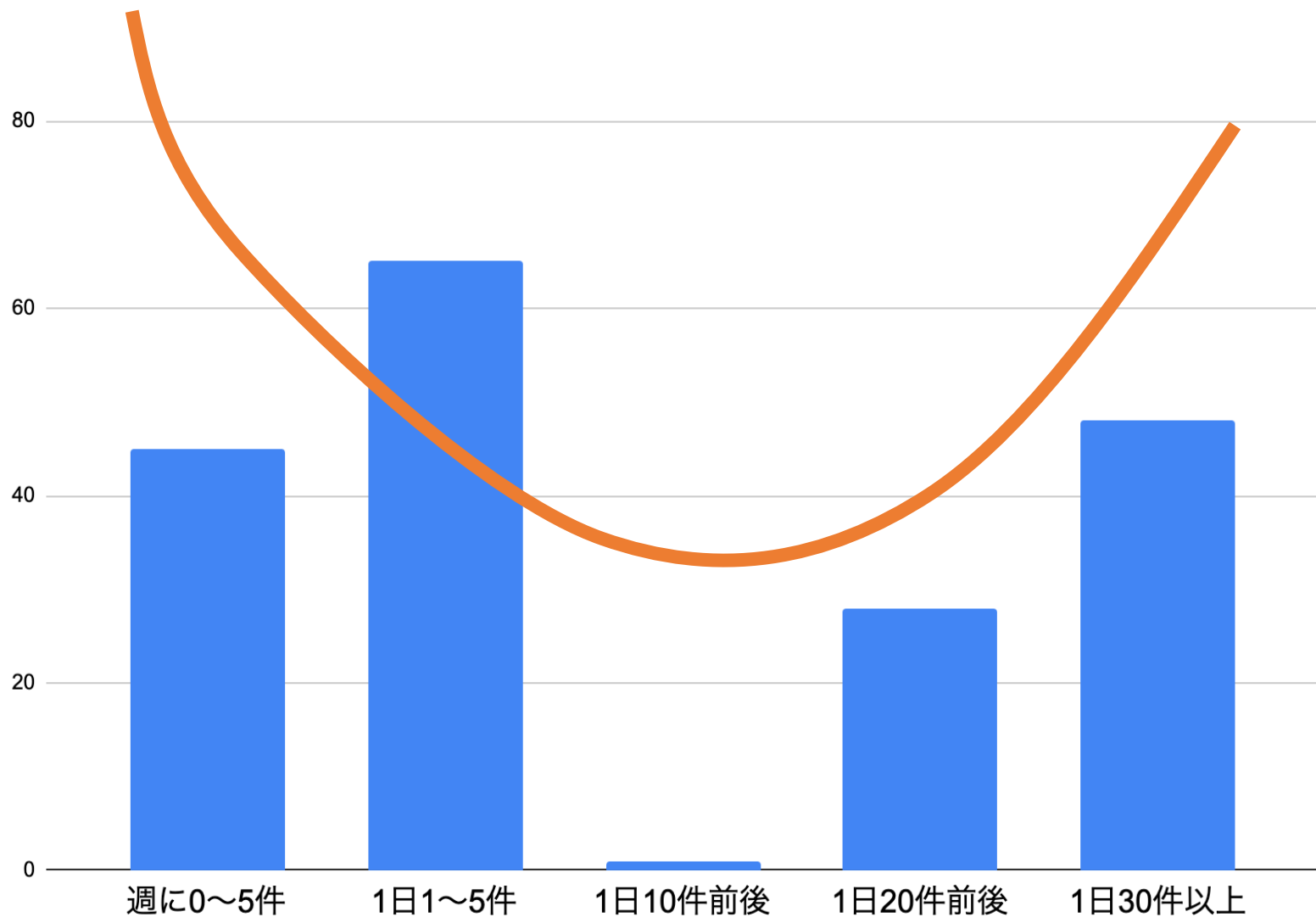
内訳



# ICTツールを選定した理由

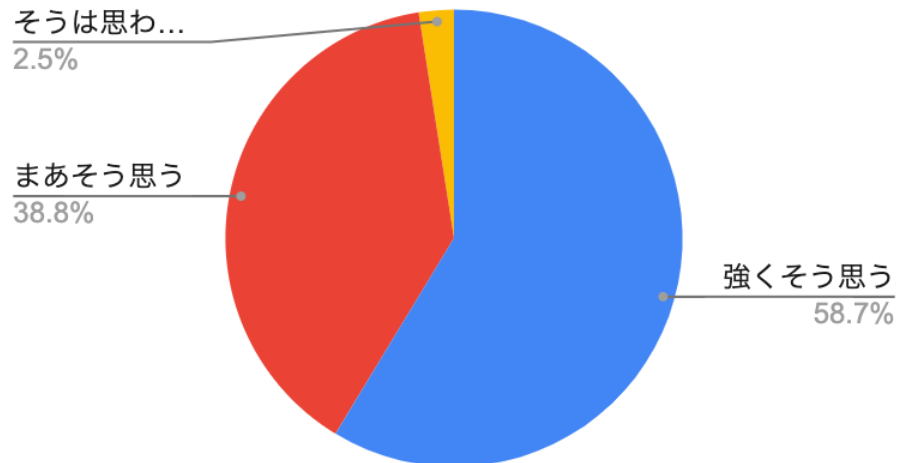


# ICTツールの利用頻度

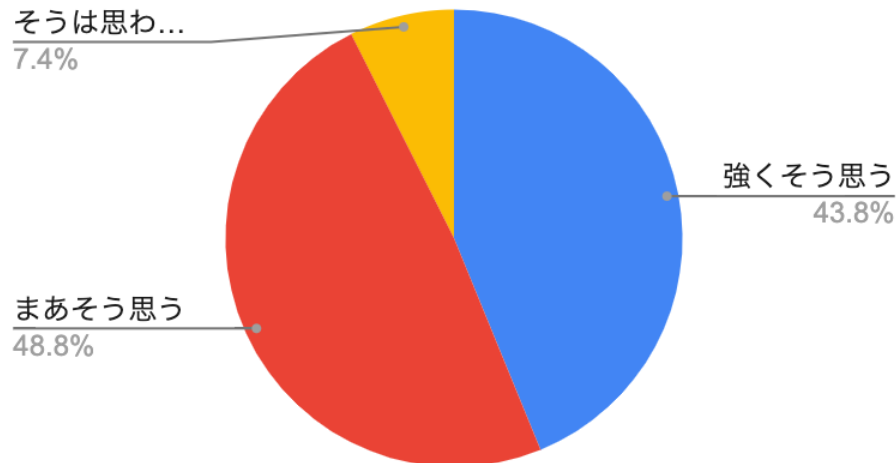


# ICTツールのメリット

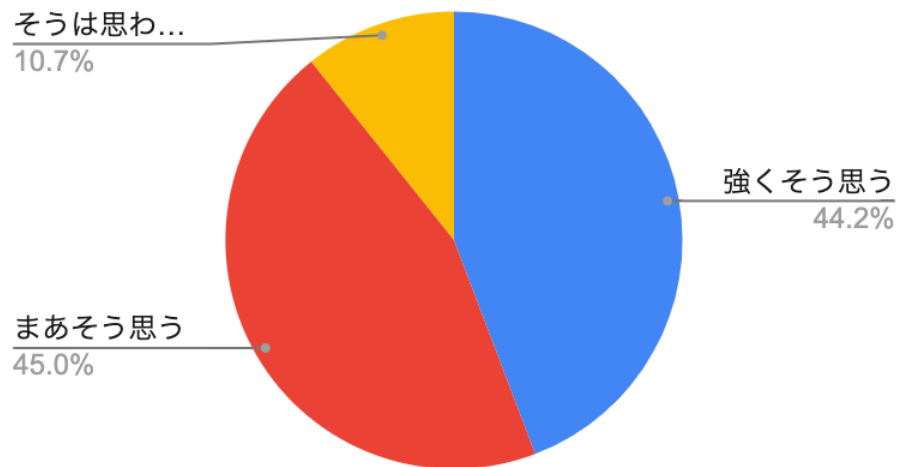
## 自己の業務に有益な情報が増える



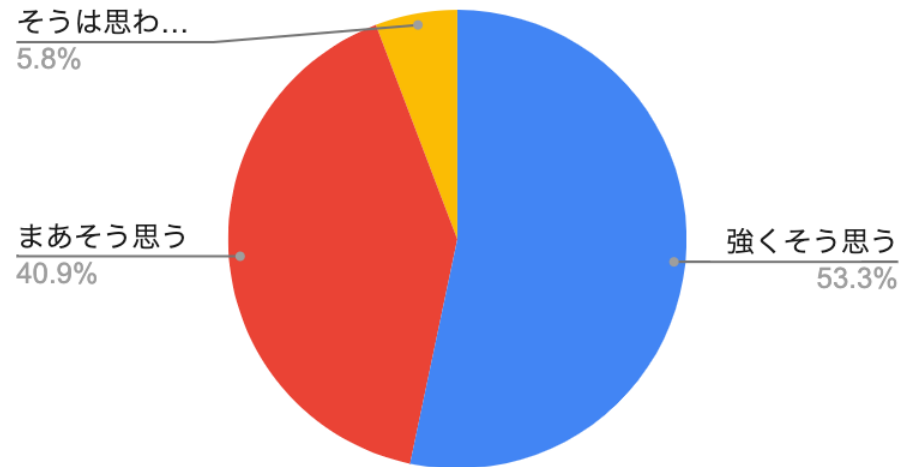
## 意見交換ができる



## 気軽に質問できる

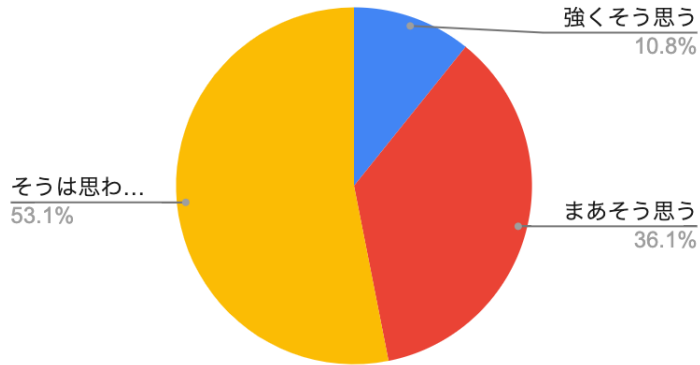


## 他職種の理解が深まる

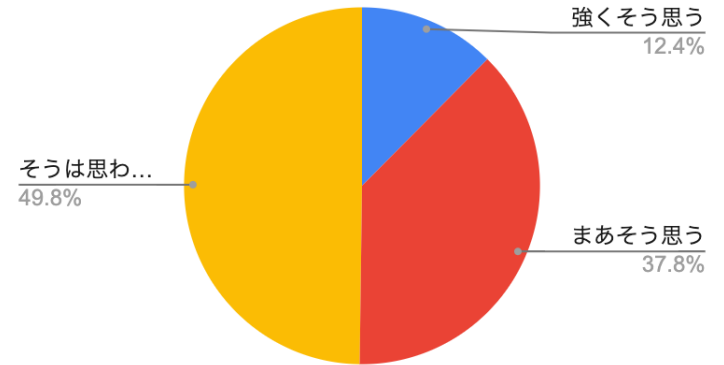


# デメリット

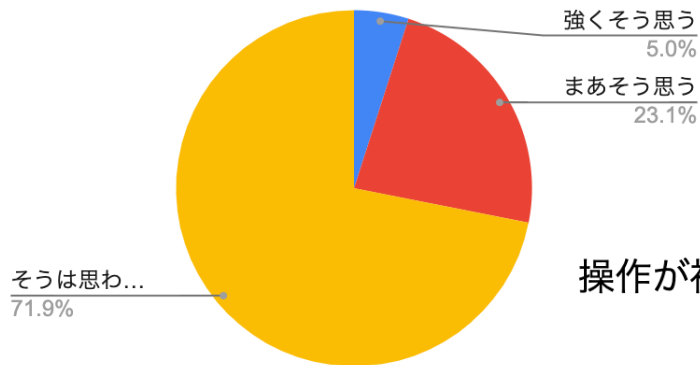
業務量が増えて困る



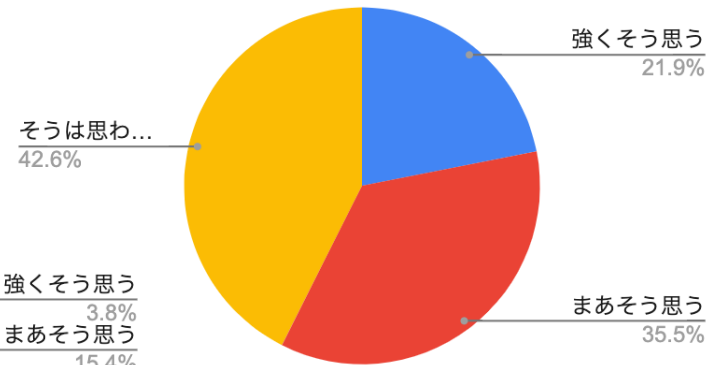
入力・既読に時間がかかる



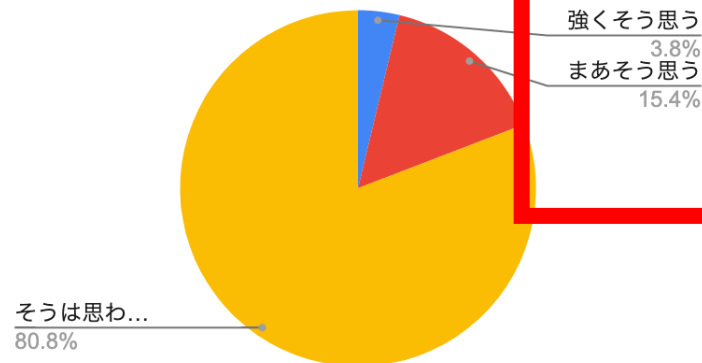
業務に不要な情報が多すぎる



連携先によりツールの使い分けに困る



操作が複雑で使いにくい



# アンケート結果より

- 非常に多種類のICTツールが使われている
- 電子メールなどの汎用ツールの利用が過半数
- 使わない理由としては“費用”、“面倒”、“セキュリティへの懸念”
- 利用頻度は少ないユーザと多いユーザでJカーブ
- ICTツールのデメリットとしては連携先によるツールの使い分けが最多
- 職種により回答者数に偏りがあり職種バイアスを考慮する必要がある